



新設所 新津市役所505号
電話 2222
発行人 藤田 繁雄
印刷所 東洋印刷所
毎月一回5日発行
(定価一部2円)

市長に手紙を出す月間
4月25日まで
市政一般について八百字以内で市役所宛宛紙

人事移動
三月三十一日現在
市主事(金澤) 永代
市主事(金澤) 永代
市主事(金澤) 永代
市主事(金澤) 永代
市主事(金澤) 永代

31年度予算成立す

歳出 219,272,510円



石川島重 市長

市長の予算説明

赤字を五力年で解消

収入 税は実収予定額を計上

昭和三十一年度予算を審議する市議会に、市長の予算説明がなされた。市長は、本年度の予算は、収入が歳入を計上し、歳出は歳入を上回る赤字となるが、五力年(五年)で赤字を解消する方針を示した。

三消防団を統一



消防団長

市議会は、消防団の統一を決定し、三つの消防団を一つに統合する。これは、消防力の増強と経費の削減を目的としている。

本年度の予算は、市議会の審議を経て成立した。市長は、本年度の予算は、収入が歳入を計上し、歳出は歳入を上回る赤字となるが、五力年(五年)で赤字を解消する方針を示した。

市議会は、消防団の統一を決定し、三つの消防団を一つに統合する。これは、消防力の増強と経費の削減を目的としている。

市議会は、消防団の統一を決定し、三つの消防団を一つに統合する。これは、消防力の増強と経費の削減を目的としている。

特別委で検討 地財再建法の受否

市議会は、地財再建法の受否を特別委員会に付託し、検討する。これは、地財再建法の施行による影響を調査するためである。

市税一億三千万円

市税の増徴を決定し、一億三千万円を計上する。これは、市税の増徴による収入の増加を目的としている。

制度改正後は補正

制度改正後の補正予算を決定し、歳入を増加させる。これは、制度改正による収入の増加を目的としている。

負担金 制限額以下に

負担金の制限額を決定し、負担金を削減する。これは、負担金の削減による経費の削減を目的としている。

明年度の赤字 解消目標

明年度の赤字を解消する目標を設定し、歳入を増加させる。これは、赤字の解消による財政の健全化を目的としている。

市議会は、地財再建法の受否を特別委員会に付託し、検討する。これは、地財再建法の施行による影響を調査するためである。

市税一億三千万円

市税の増徴を決定し、一億三千万円を計上する。これは、市税の増徴による収入の増加を目的としている。

制度改正後は補正

制度改正後の補正予算を決定し、歳入を増加させる。これは、制度改正による収入の増加を目的としている。

負担金 制限額以下に

負担金の制限額を決定し、負担金を削減する。これは、負担金の削減による経費の削減を目的としている。

明年度の赤字 解消目標

明年度の赤字を解消する目標を設定し、歳入を増加させる。これは、赤字の解消による財政の健全化を目的としている。

市税一億三千万円

市税の増徴を決定し、一億三千万円を計上する。これは、市税の増徴による収入の増加を目的としている。